

ひがしいずようちえん

東伊豆町立ひがしいず幼稚園

令和8年 5月号

5月はお家の方だけでなく、地域の皆さんとの交流で、いろいろな体験や出会いがありました。素敵な小唄と踊りの披露、秋の収穫が待ち遠しい芋さし、カーネーションの育て方を教えてくれた農家さん、子どもたちの疑問に答えてくれた船長さん…子どもたちの興味や関心がグッと深まりました。

また、年少組に新しい友達が増え、さらにパワーアップしたひがしいず幼稚園！今後も地域の方との関わりを深めながら、子どもたちの“やってみたい”をたくさん体験していきたいと思います。

5月のできごと…



子どもの日のパーティーでは、年長さんがお母さんと一緒にかしわ餅を作りました。そして、素敵なゲスト（齋藤さん親子）が、ももたろうの小唄に合わせて踊りを披露してくれたり、子どもたちが着られる兜揃いを貸してくれました。ありがとうございました。



東伊豆町花斉組合の方たちがカーネーションのプレゼントに来てくれました。カーネーションを受け取ると「お母さんにあげるの」と嬉しそうに話していました。



シャボテン公園へ親子遠足。とても天気が良く、カンガルーやカピバラ、ヤギ、キリン、クジャク…たくさんの動物を見たり、餌をあげたり親子で楽しい時間を過ごしました。今年も霊友会さんにバスをお借りしとても快適な親子遠足になりました！ありがとうございました。

また、前日には、年長さんの部屋に“お菓子屋さん”が開店。遠足のお菓子のお買い物をしました。一つ一つカゴに入れ最後のレジでピッ！本当のお店ようでした。



農協青壮年部さんに教えてもらいながら芋さしを行いました。シャベルを使い上手に芋の苗をさし、「大きくな～れ」と優しく土をかけていました。秋には美味しいお芋がたくさん採れるといいな！芋畑からの帰り道、お散歩しながら少しだけ遠回り。赤くて甘～いものを見つけることができました。それは何か…お子さんに聞いてみてくださいね。園の周りには自然がたくさん！どんな宝物が見つかるか楽しみです。



泥遊びは、感覚、想像力、友達とのコミュニケーションなどの社会性が育まれます。「べちょべちょしてる」「チョコみたい」「もっと水を入れてみよう」「ポッキー作ろう」と友達と会話をしながら、創意工夫して遊ぶ姿がみられました。翌日には泥が固まっていることに気づき、「おもしろい！」とさらに遊びへの意欲が高まっているようでした。



雨の日には、遊戯室が大盛り上がり！年長さんが年下の友達のことを考えながら、滑り台、一本橋、はしご、トランポリンを組み立て、「一人ずつ渡ってください」「順番抜かしはダメです」と遊びのルールも教えてくれました。どの子も汗をかきながら楽しんでいました。



“魚を知ろう！”から戻ると「どうしてイカの血は赤くないの？」と疑問を抱いた年長さん。図鑑をみたり、調べたりしましたが…魚のことは「船長（栗田さん）に聞こう！」声をかけると、すぐに幼稚園に来て話をしてくれました「イカの血は透明」「イルカは魚でなく動物」など子どもだけでなく大人もワクワクするようなお話が聞け、興味や関心がさらに深まりました。

